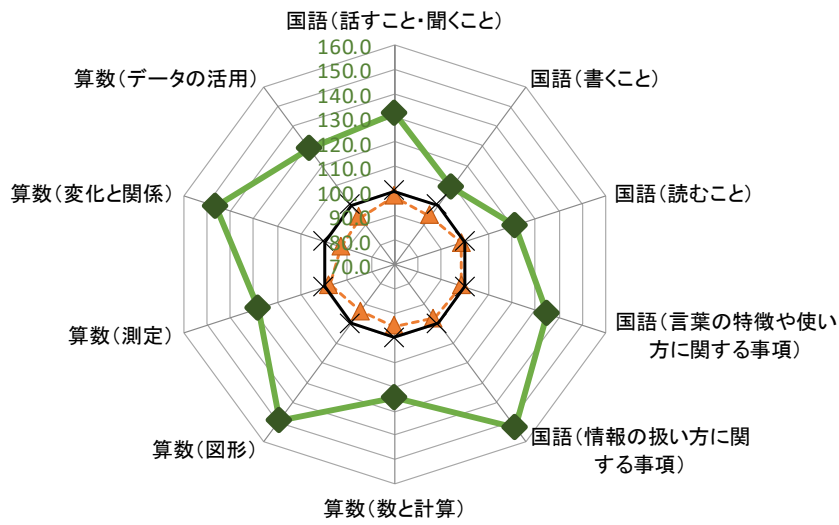


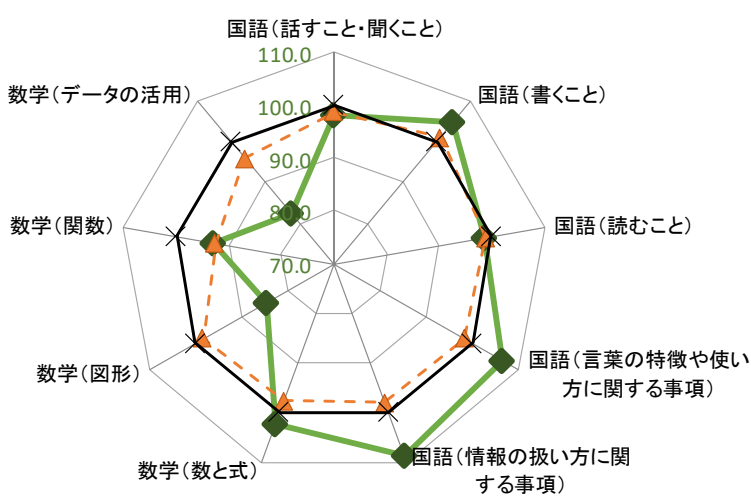
○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】
・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものと
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

小学校



中学校



【平均正答率・平均IRTスコア】

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
妹背牛町	80	75	66	53	506
北海道（公立）	59.6	53.6	63.3	55.0	490
全国（公立）	60.9	56.4	63.9	57.0	499

※中学校英語は4技能（聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと）の平均IRTスコア

★教科に関する調査結果の要因★

小学校では、国語・算数とも全国・全道平均を上回った。国語の「言葉・情報」や算数の「図形・測定」などで、基礎的な知識・技能を生かし、資料や条件を読み取って考える力が身に付いていることが、結果の背景の一つとして考えられる。

中学校では、国語・英語とも全国・全道平均を上回った。国語の「言葉・情報」、英語の「聞く・読む」などで、基礎的な力が身に付いていることに加え、話合いや資料をもとに考えを整理する力が身に付いていることが、結果の背景の一つとして考えられる。

★今後の改善方策★

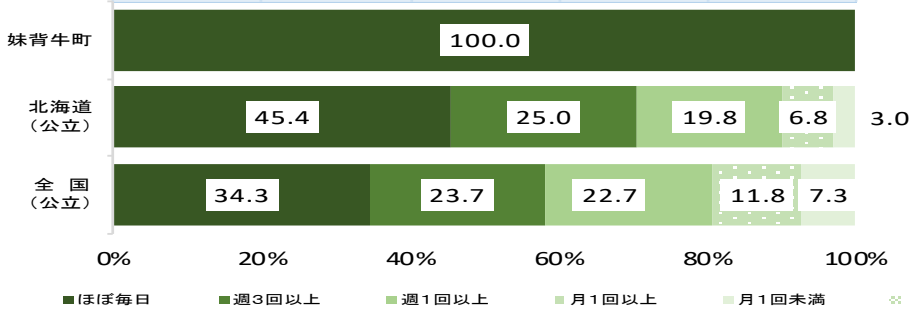
- ◎日常的な対話活動や考えの整理・発表など、学習場面に応じたICT機器の効果的な活用を進める。
- ◎自ら見通しをもって学習を進め、根拠や思考の筋道を明確にして表現する力を育てる指導を進める。
- ◎各教科の基本的な概念や知識・技能について、具体的な活用や振り返りを通しての確実な定着を図る。
- ◎小・中学校での学習内容の系統性を意識した授業改善を進め、基礎的な力を中学校での深い学びにつなげる。
- ◎家庭学習の習慣や内容の充実に向け、学校・家庭・公設塾が連携し、児童生徒の学習習慣の確立を継続的に支援する。

○ 質問調査の状況

小学校

＜学校質問＞

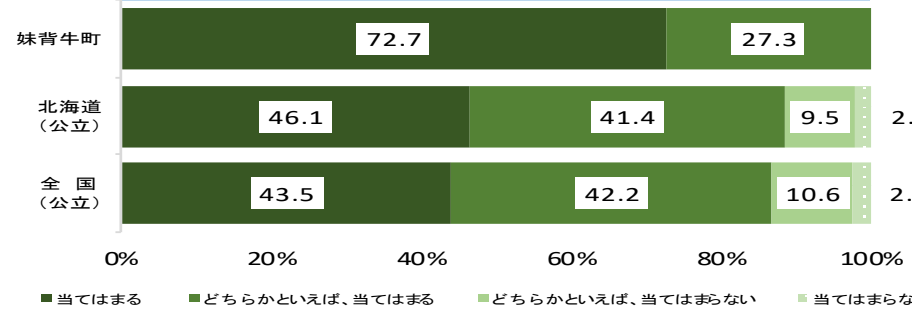
児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



小学校

＜児童質問＞

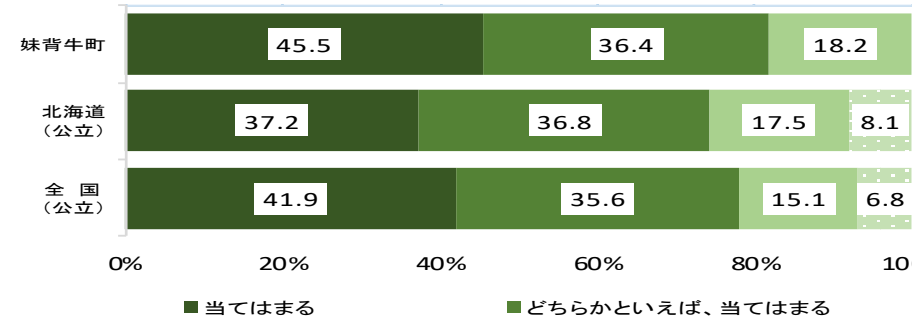
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



小学校

＜児童生徒質問＞

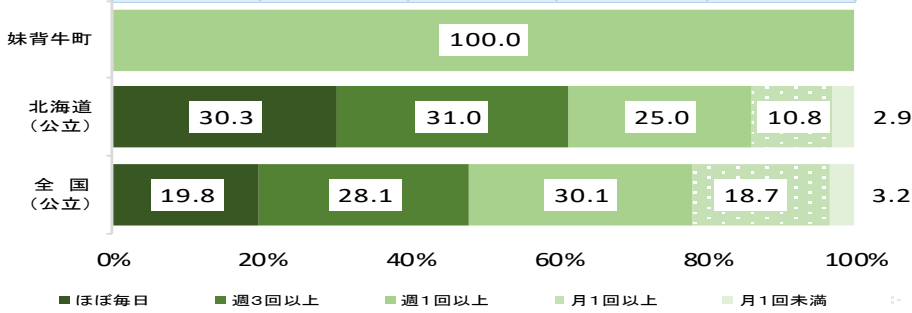
算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



中学校

＜学校質問＞

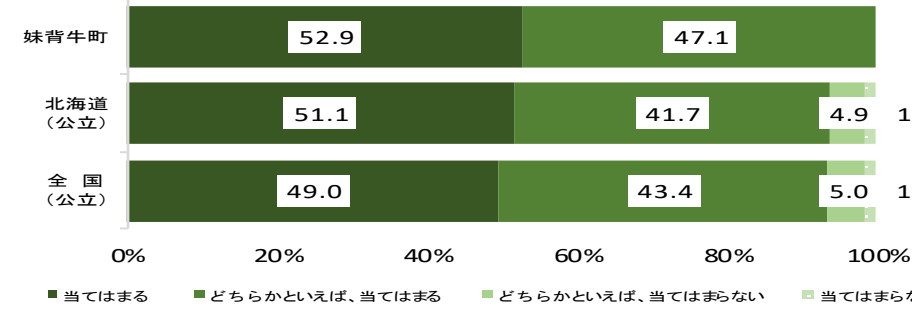
生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



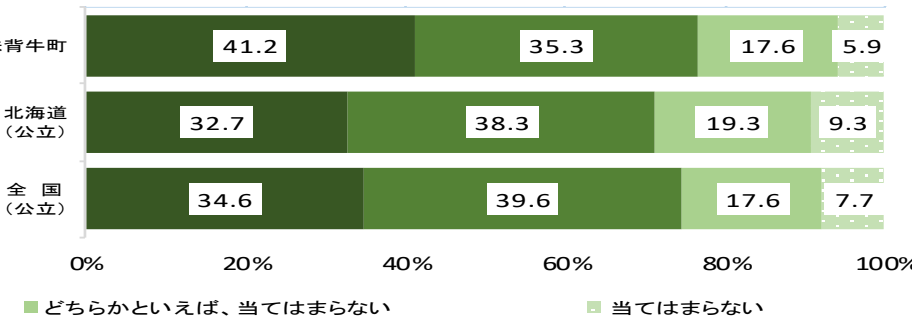
中学校

＜生徒質問＞

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校



★質問紙調査結果の要因★

小学校では、児童同士の話し合いを通して考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすること、また、算数の授業内容を理解していることについて、全国・全道と比較して高い状況が見られる。こうした対話を通して考えを深める学習や学習内容の理解を大切にした授業づくりが、学習への前向きな意識の背景にあると考えられる。

中学校では、友だちや周りの人の考えを大切にし、協力して課題に取り組むこと、また、数学の授業内容を理解していることについて、全国・全道と比較して高い状況が見られた。こうした協働的な学習の積み重ねが、学習に対する前向きな意識の背景にあると考えられる。